

令和5年度第4回江別市経済審議会会議録（要旨）

日時	令和6年2月2日（金）14:00～15:00
場所	江別市民会館（37号室）
出席者(10)名	会長/井上誠司 副会長/藤本直樹 委員/森邦恵、伊藤環、千葉幸子、中野亮二、佐々木尚弘、岸本佳廣、青山孝広、西純一
事務局(11)名	経済部長、経済部次長、商工労働課長、観光振興課長、農業振興課長、商工労働課主査、農業振興課係長（3名）、ほか2名
欠席者(7)名	委員/鈴木貢、若狭洸介、杉野邦彦、奥村幸広、岡村恵子、光永大希、小原愛香
傍聴者(1)名	—
議事事項	(1) 報告事項 第2次江別市観光振興計画策定の進捗状況について (2) 協議事項 第5次江別市農業振興計画の策定について

会議録

会長	開会のことば
会長	会議成立報告
会長	次第第1（1）の報告事項「第2次江別市観光振興計画策定の進捗状況について」事務局より説明願います。
観光振興課長	<p>「1 これまでの経緯」ですが、前回の第3回経済審議会で行った進捗状況のご報告後の経緯となります。</p> <p>令和5年10月に第3回策定委員会を開催し、計画の素案を決定。その後、計画案とパブリックコメントの実施を市議会経済建設常任委員会に報告し、令和5年12月4日から令和6年1月5日の期間でパブリックコメントを行い、2名から3件のご意見を頂きました。「江別市は道内の他市と比べて観光のイメージは無いが、良い観光資源はあるので有効に活用して欲しい」という趣旨のご意見を2件頂き、いずれも「案の変更は無いが、今後の参考等とするもの」としました。また、市内公共交通網の課題についてのご意見を1件頂き、「その他の意見」としました。</p> <p>令和6年1月に第4回策定委員会を開催し、パブリックコメントの実施結果と計画最終案を確認しました。なお、前回の経済審議会での「有名人の活用や様々な媒体を活用したPR」という意見には、計画の中の戦略的な情報発信の中で検討するよう、また、江別市観光の推進体制の中で関連団体等からの提言をいただく形で進められるよう関係者と共有しました。</p>

	<p>次に、「2 第2次江別市観光振興計画最終案」ですが、第1章は計画の策定にあたっての背景や目的、計画の位置付け等について、第2章では江別市の観光動向として国内や道内の観光市場の状況についてと江別市の観光市場の概観や課題等を記し、第3章では江別市観光振興計画の振り返りとして、現計画の評価や市民アンケート調査及び事業者ヒアリングについて記載しております。第4章では江別市観光の目指す姿として、江別市の魅力・資源、観光課題について触れた後、観光像と基本方針について記載して、江別市の新たな観光像を、「訪れるたび近くなるまち、えべつ」としました。第5章では江別市観光の戦略として、観光像、基本方針とそこに基づく基本施策や取組案からなるアクションプランを、第6章では、江別市観光の推進体制として、各主体の役割と進捗管理について記載しております。第7章では、参考資料としまして、策定までの経過と用語解説を記載しております。</p> <p>「3 今後のスケジュール」ですが、2月中旬に開催予定の江別市議会経済建設常任委員会で、パブリックコメントの実施結果を報告しました後、計画を決定し、3月に公表いたします。</p>
会長	<p>只今の説明に対して、ご質問やご意見等ございましたら、お受けしたいと思えます。</p>
副会長	<p>第2次江別市観光振興計画策定委員会の委員長を務めております私の方から補足させていただきます。</p> <p>まずは、パブリックコメントについてです。3件のパブリックコメントがありましたが、批判的な意見というのは全く無く、むしろ江別市には「食」などの観光資源があり、観光や交流にとってのポテンシャルがすごく高い地域なので、「これからもしっかりと頑張りたい」というようなエールを頂いたと受け止められる内容が中心となっていました。</p> <p>次に、委員会で出た意見についてです。参考資料にある委員名簿についてですが、江別商工会議所やJR江別駅、一般社団法人えべつ観光協会、NPO法人えべつ協働ネットワーク、江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会の方、さらには市民公募の委員も参加されていることがわかるかと思えます。このように、今回作成した計画の実現に向け、実践していくプレーヤーがメンバーとして参加されておりますので、最終委員会で出た意見として、「立派な観光振興計画を作って終わりではなくて、私たち皆が実現に向けて頑張らなければいけない」という意見が多く出されました。</p>
伊藤委員	<p>去年、東京に行った際、東京駅と日本橋を無料バスで往復しました。江別市は、どこに行くにも不便という声が聞こえてきますので、観光に力を入れるのであれば、市から資金を援助して、無料シャトルバスなどの運行はできないのでしょうか。</p>
会長	<p>公共交通については、JRのダイヤ改正により列車運行本数が減り、また快速列車である「快速いしかりライナー」が廃止となり札幌との時間距離が長くなってしまったという問題があります。また、バスに関しても、「2024年問題」の影響も加わって労働力不足が深刻化し、減便されている状況にあります。</p> <p>公共交通機関に属する委員はJRの方ですが、策定委員会で既存路線を充実あるいは改善させる余地はあるのかといった議論はなされたのでしょうか。また、デマンド交通の運行に力を入れている市町村が全国各地にあります。観光振興に関連してこのような交通機関を江別市で運行することについて審議されたのでしょうか。かつて「やきもの市」会場でシャトルバスを運行した実績がありますので、過去の取り組みも参考になると思うのですが、これらについて副会長または観光振興課長からコメントいただけますか。</p>

副会長	<p>拠点の駅やバスターミナルを一次交通、そこから目的地までの移動手段のことを二次交通と言いますが、二次交通に関してはその弱さや不便さについてパブリックコメントでも出されていましたし、委員会でも大きな課題として認識されました。</p> <p>私個人の意見になりますが、観光振興計画単独で二次交通の問題を解決するのは少し難しいです。説明しますと、例えば時期によってはデマンドバスと言われるような、福祉目的も含めたバスを運行したり、今から4～5年前に実験的に江別市で市内の循環バスのような取組もされていました。それを制度化する動きはコロナもあって止まってしまいましたが、江別市の場合、福祉や教育、まちづくりと併せて、複合的な施策で交通の問題を解決する必要があると認識しています。観光振興計画の中だけで、メジャーな観光地のようにシャトルバスを運行するということまで書き込めなかったというのが正直なところですよ。</p> <p>私たち策定委員会の委員も強く問題意識を持っておりますので、市の色々な制度で、他部局との調整を含めて、これから実現に進めてまいりたいと思っております。</p>
観光振興課長	<p>計画案の中では、二次交通の検討というところで項目を挙げております。やはり観光単独で、観光のためにデマンドバスのようなものを回すのは、現実的には難しいと捉えておりますが、先ほど申しあげました市内の交通アクセス情報の発信ですとか、そういったことで力を入れてまいりたいと思っております。</p>
会長	<p>続きまして次第第1（2）の協議事項「第5次江別市農業振興計画の策定について」事務局より説明願います。</p>
農業振興課長	<p>私から、パブリックコメントの実施結果についてご説明申し上げます。</p> <p>パブリックコメントの募集期間は令和5年12月4日から令和6年1月5日までの約1か月間で、1名の方から5件の意見が提出されております。</p> <p>まず1件目のご意見ですが、「農業生産を維持発展させるため農地面積を縮小させない計画の推進管理は当然で、その確保は農業行政だけでなく、江別市の産業経済の発展と地域振興、都市づくりにおいても重要であることをもっとアピールすべきと考えます。また、農地基盤の整備においては、今後の食料の供給と需要の変化が見通され、全国的なコメ生産の縮小対応や、水田転作作物の連作障害防止や環境保全のため田と畑の相互利用が可能な水田としてその機能を維持充実させる整備の推進が必要であり、計画ではその視点が欠如しているのではないかと考えます。」というご意見でございます。</p> <p>このご意見について補足いたしますと、「江別市の産業経済の発展と地域振興、都市づくりにおいても重要」という部分について、これは「産業振興や都市づくりのために農地を利用、開発する」という意味ではなく、「農地を農作物の生産場所として残すことが経済発展や地域振興において重要である」という意味であると伺っております。</p> <p>このご意見に対する市の考え方は「農地面積の確保に係る重要性のアピールにつきまして、農地は食料生産の場のみならず、環境保全や景観形成、防災、自然教育など、様々な機能を有しております。このため、本計画においても、農地の集積・集約化等の促進による耕作放棄地の発生抑制や、持続可能な農村環境づくりなど、農地を保全する方向性を示すため、農地面積を維持する目標としております。</p> <p>江別市の産業経済の発展と地域振興、都市づくりにおける農地の重要性に関しましては、都市部から農村部へ人を呼び込むことを目的とした農村滞在型余暇活動機能整備計画などの関連計画とのバランスを取りつつ、生産者や地域の声を聞きながら江別市の農業振興にとって最適な農地利用の形態を模索し、農業委員会をはじめとする関係機関及び関係部署と連携し対応を進めてまいります。</p> <p>農地基盤の整備につきましては、農業行政を取り巻く環境の変化を踏まえながら、国、北海道、土地改良区等の関係機関と連携のうえ、計画的な農業生産基盤の維持・整備を推進していくこととしており、いただ</p>

いたご意見につきましては、今後の関係者との協議の際の参考とさせていただきます。」という案にしております。意見の反映状況でございますが、「C 案に反映していないが、今後の参考等とするもの」としております。本計画におきまして、成果指標においては多面的機能支払交付金の対象農地面積、いわゆる農地面積の部分については維持する目標としておりますが、単に農地面積の維持のみを目標とするのではなく、農業振興の観点から観光振興などとも連携しつつ、農地におけるグリーンツーリズム関連施設の整備なども推進することとしておりますことから、結果として参考意見としてお受けするという区分としたところがございます。

続いて、2件目のご意見は「都市近郊農業に固守する発想からか、これまでの江別市の基幹作物である稲作、酪農について今後の展開方向を示していないが、その生産性や品質の向上などで発展の可能性が大きく、江別市の農業生産でも今後もそのウエイトは大きいことから、取り組み姿勢を明確にすべきであると考えます。37ページ水稻を畑作物としていることは間違いです、修正される必要があります。」というご意見ですが、提出に際し、ご本人から「今一度原点に立ち返って水稻と酪農に力を入れることが重要という趣旨」と伺っております。

これを踏まえての当市の考え方は、「江別市の農業は、かつては稲作や酪農が中心の土地利用型が主体でしたが、現在においては、国内の米需要の減少のほか、6次産業化や地産地消の推進など、農業を取り巻く情勢の変化に伴い、江別市の特徴である都市近郊という強みを生かした農畜産物の供給への転換が進んでいます。これまでの水稻や酪農に加えて、畑作・露地野菜・施設園芸・肉用牛・養鶏などの導入による複合化が進んでいることから、関係機関と連携して、新規農作物の導入や、多様な生産活動に対する技術指導・情報提供などの支援に努めてまいります。また、37ページの表記に関しましては、水稻と畑作物を明確に分けるよう修正いたします。ご指摘いただきありがとうございました」という案としております。全体の意見の反映状況でございますが、区分としては「D 案に反映しないもの」としてしております。本計画において、当市の農業経営においては複合化が進んでおりますことから、複合化に向けた支援に努めることとしておりますので、このように区分したものでございます。なお、37ページの表記誤りにつきましては、計画に修正を加えておきまして、修正前は「小麦・水稻・豆などの畑作物に加え」と表記していたものを、「小麦、大豆などの畑作物や水稻に加え」と修正するものでございます。この部分につきましては、本文表記の誤りの指摘と受け止めており、計画の趣旨を変更するものではないことから、結果として「A 意見を受けて案に反映するもの」の区分にはしておりません。

3件目のご意見ですが、「道外移出や輸出を考える農業生産への取組が見えない、周辺市町村との連携、広域農協体制、鉄道・空港・港湾・高速道路など移輸出条件の有利性などに着目した新しい戦略的な作物の導入をすることが必要と考えます。」との内容でございますが、趣旨としては「都市近郊農業ではなく、都市に依存しない農業を考えて欲しい」という意見であると伺っております。

これに対する市の考え方としては、「道外移出や輸出などの販路拡大を推進する取り組みにつきましては、商談会や研修会などの情報提供に努めるとともに、安全安心な農畜産物や商品のPRのほか、販売イベントなどの開催を支援していくほか、海外への販路拡大において優位性・必要性が認められる制度周知に努めてまいります。また、輸出に適した新しい戦略的な作物の導入につきましては、生産者の要望や生産者の団体である農業協同組合の意向を踏まえ、実需の動向に注視しながら、今後の課題として関係機関と連携し検討してまいります。」としております。この意見の反映状況でございますが、「C 案に反映していないが、今後の参考等とするもの」としてしております。輸出向けの戦略的な作物の導入については、本計画において言及した部分はございませんが、農畜産物の高付加価値化の観点から、新規農作物の導入につきましては関係機関と連携し支援していくこととしておりますので、結果として「今後の参考等とする」に区分したものでございます。

4件目のご意見でございますが「生産物の付加価値向上・地域への貢献のためには、農産物の生産だけで

	<p>はない加工・流通までの積極的取り組みが必要です。市内には町村牧場や小林牧場のような先進事例があり、周辺市町村にも事例が多いことから農業の6次産業化には積極的な取り組みが必要と考えます。」というご意見でございます。</p> <p>これに対する市の考え方でございますが、「6次産業化の推進につきましては、農業者一戸における経営面積が拡大し、労働力が不足していることから、農業者が積極的に取り組むことが難しい状況へと変わりつつあります。本計画案を審議している経済審議会においても、このような現状を踏まえ、推進に向けた課題についての議論がなされております。課題の解決に向け、農作業の省力化・効率化の支援や担い手確保の取り組みを進め、労働力不足の解消を図りつつ、これまで6次産業化に取り組んできた農業者や現在取り組んでいる農業者の意向を踏まえながら、都市と農村の交流センター『えみくる』内に整備したテストキッチン或利用や市の補助金制度の活用などを推進しております。」と案を策定しております。意見の反映状況としては「C 案に反映しないが、今後の参考等とする」ものとしております。6次産業化の推進につきましては、農業者の負担が大きくなっている現状を受け鈍化傾向にあるため、まずは負担軽減の取り組みを進めつつ、各種の支援を行うこととしておりまして、加工流通までの積極的取り組みについては、「C」に区分したものでございます。</p> <p>最後に5件目のご意見でございます。市民意見として記載のとおりご意見が寄せられているところでございますが、このご意見の趣旨は、本計画案の内容に対してのものではございませんでしたので、市の考え方といたしましても、「担当部署と情報共有いたします。」との案としておりまして、意見の部分は「E その他の意見」としております。</p>
<p>会長</p>	<p>ただ今の説明に対しましてご質問、ご意見がございましたらお受けしたいと思っております。</p>
<p>青山委員</p>	<p>2件目のご意見を「D」とした理由について、いくつか聞き取れなかったもので、もう一度お話いただいてもよろしいでしょうか。</p>
<p>農業振興課長</p>	<p>「D」にした主な理由としては、この計画の中で、当市の農業経営において複合化が進んでいて、増加に向けた支援に努めるということとしており、結果としては「最終的な案には反映しない」というふうに区分をしています。また、最後の字句の修正の部分については、案の計画に反映する以前に、記載の誤りなので、そこは修正をさせていただくという趣旨でございます。</p>
<p>副会長</p>	<p>青山委員からの指摘に関連しまして、申し上げます。2番目のご意見の前半と後半の表記上のミスに関する指摘には関連性が無いことから、1人の方から5件の意見が出たというよりは、これを分割して6件にして、前半が「D」で後半が「A」というような取り扱いにするのは難しいでしょうか。</p>
<p>農業振興課長</p>	<p>副会長からのご指摘のとおり、2番目のご意見を分割して表記し、最終的な提出件数は6件とします。また、表記上のミスに関する指摘については計画案の文言として反映させていますので、意見の後半部分については、意見の反映としては「A」としたいと思っております。</p>

<p>会長</p>	<p>全体的に見まして、これまで検討してきた内容がかなり含まれている計画になったと感じています。ただ、先ほど観光振興計画の報告に関わるコメントにもありましたが、計画は策定して終わりではなく、実践していくことが欠かせません。</p> <p>例えば3件目の意見は農産物の移出や輸出の推進に関わるものでしたが、これらについては以前から江別市は有利な状況にあると言われていました。高速道路で空港のある千歳、日本海側の各地に移出可能な港がある小樽、太平洋側の各地に移出可能な港がある苫小牧と直結しています。こうした利点を生かせば、移出や輸出を今後推進していく余地はまだまだあると言えます。</p> <p>また、6次産業化についてですが、本審議会の岡村委員をはじめ、熱心に取り組まれている方が市内にはたくさんいます。このような現状について、パブリックコメントを寄せた方をはじめ、多くの皆さまに認識していただきたいという思いがあります。</p> <p>一方で、市全体で6次産業化を実践している方々を売り込んでいくという取組はこれまで希薄だったのではないかと、個人的に感じています。岡村委員の「はるちゃんのトマトケチャップ工房」、町村農場、小林牧場などは、いずれも単独で道内外に有名になっていった事例なのではないでしょうか。市が積極的にこうした取組を売り込んでいくことも、今後検討されて良いと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>その他ご質問やご意見等がございましたら、お受けしたいと思います。</p>
<p>各委員</p>	<p>なし</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、計画案を確定したいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>次に、答申書案について、ご説明いたします。</p> <p>こちらは、経済審議会として農業振興計画案とともに市長へ答申（提出）することとなりますので、加筆や修正すべき点などがございましたらお受けしたいと思います。※答申書案を読み上げる。</p> <p>只今、読み上げました答申書案について、ご質問、ご意見等ございましたら、お受けしたいと思います。</p>
<p>各委員</p>	<p>なし</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、答申書を確定したいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>次第の2「その他」で委員の皆さまや事務局から何かございますか。</p>
<p>各委員</p>	<p>なし</p>
<p>経済部長</p>	<p>挨拶</p>
<p>会長</p>	<p>閉会のことば</p>